

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 研修部会	
開催日時	令和4年8月18日(木) 開会：19時30分 閉会：20時20分	
開催場所	Zoomによるオンライン会議	
出席者(委員)氏名	阿久津彰良、溝上俊亮、堀内 規、豊島拓海、河野真也、出雲秀章、澤田千尋、加藤里美、川島 治	
欠席者(委員)氏名	江黒 徹、本木瑞穂、前田千穂	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ	
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ICT/患者情報共有部会からの依頼について不明点など含め意見(共通認識)</li> <li>2. 内容について追加すると研修会がより良いものになると思う意見(発展)</li> <li>3. 実際の動き(具体的な展開方法)について意見(検討)</li> </ol>	
会議資料	(資料名・概要等) ふらっと Zoom 部会 (R4.8.18)	
その他必要事項		
会議録 の確定	確定年月日	主宰者記名
	令和4年9月8日	阿久津彰良 溝上俊亮

発言者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
阿久津委員	<p>【開会】19：30</p> <p>あいさつ</p> <p>本日は、第1回目の研修についてまとめていきたい。</p>
各委員	<p><b>【報告】</b></p> <p>7月14日開催されましたICT/患者情報共有部会の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>①同職種でグループを組む</li> <li>②人生ファイルの存在の有無確認（グループ毎、知らなかった人数分数で記録）</li> <li>③内容、構成など理解</li> <li>④どのページが我が職種にとって有効であるか？</li> <li>⑤他ページで必要な情報だと思えるところはどこか？</li> <li>⑥職種ごとの発表</li> <li>⑦一覧表示（人生ファイルのページを大きく印刷して④⑤を視覚的に認知してもらう）</li> </ul> </li> </ul> <p>人生ファイルを書く気運を盛り上げる。</p> <p>例えば、「自分が高齢者になったときに何を書くか。」などをイメージでき、それが利用者さんのためであることを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回開催（今後の会議進捗で決定） <ul style="list-style-type: none"> <li>①多職種でランダムグループをつくる</li> <li>②グループワークかロールプレイをするか？</li> </ul> </li> </ul> <p>自分達の強みは何かまで繋がるが良い。</p> <p>事例を考える。パターンを作っておく。</p>
阿久津委員	<p><b>【議題】</b></p> <p>1. ICT/患者情報共有部会からの依頼について不明点など含め意見（共通認識）</p>
各委員	<p>第1回目の研修における同職種でグループを組むとは、薬剤師、</p>

ケアマネ、介護士などで組むのがいいのではないか。サービス種別で組むと様々な職種が混ざる。

第1回目から第2回目に繋がるように組み立てると良い。

また、多職種連携が重要であることについて、研修の最後に締められるとよい。

2. 内容について追加すると研修会がより良いものになると思う意見（発展）

3. ①～⑦までの中で実際の動き（具体的な展開方法）について意見（検討）

人生ファイルのメリット、デメリットを研修に盛り込む。

第2回目は、利用者や高齢者に自分が伝えることをロールプレイでやるのも良い

研修会は、「人生ファイル」を周知させることを一つの目的にしたい。

書く意義を伝えることが大事だが、研修をやることで伝わると思われる。

自分が高齢者になったときに何を書くかを研修内容に入れると良い。

「利用者のために」という内容で、専門職の心をくすぐることができるようにしたいが、次回の作業部会までの宿題にする。

#### 4. 募集数

周知が目的であれば、できるだけ多くを募集したい。

[閉会]20:20